

事業の背景・目的

福岡市では『生物多様性ふくおか戦略』に基づき、生物多様性の重要性の社会への浸透を当初の目標として取り組んでおり、一定程度の浸透は図られているものの、市民意見として、「事業者や市民が自然環境保全活動をしやすい環境づくり」、「自然環境や生きものに関する情報発信・環境学習の充実」などの中間支援を期待する声が多い。加えて、生物多様性の保全には、多様な主体に生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性が広く認識され、それぞれの行動に反映されることが重要であるため、多様な主体間の連携・共働の場づくりや行動変容につなげる情報発信、環境づくりを実施する。

事業の内容

市民・企業・NPO・専門家などの多様な主体間の交流や活動に必要な情報の収集・発信拠点として、生物多様性地域連携促進法に基づく「地域連携保全活動支援センター」をWeb上に設置し、生物多様性に関する情報発信を行うとともに、市民向けイベントの実施など生物多様性を学べる機会を創出した。

また、事業活動において生物多様性保全を推進するための専門家を派遣した。

事業① 生物多様性ふくおかセンター（Web）の構築及び情報発信

- ・生物多様性ふくおかセンターの設置（令和7年1月）
- ・生物多様性に関する情報発信（コラム75件、ニュース・イベント12件）
- ・オンライン参加型イベント「ふくおかいきもの調査隊」の実施（令和7年1月20日～2月20日）

事業② 生物多様性に関する専門家派遣

- ・生物多様性保全の取組みを検討している団体にニーズにあった専門家を派遣（2件）



ウェブサイト「生物多様性ふくおかセンター」

得られた成果

センター開設（1月20日）から3月16日までのサイト閲覧数は13,159件、サイト訪問者数は5,587人であり、多くの市民に閲覧いただいている。また、オンライン参加型イベント「ふくおかいきもの調査隊」において、参加者数は147人、イベント期間中のいきものの投稿数は1,745件であり、生物多様性を学ぶ機会の創出につながるとともに、普及・啓発効果が高いものとなった。

今後は、コラムの充実やいきもの調査によるいきものマップの充実、企業やNPO等の取組みの紹介などを追加していく予定であり、オンラインイベントだけでなく、リアルイベントも交えて開催する予定である。

